

ミシュランの星を獲得しているシェフ、ジョエル・ロブション氏が ブランパンのニューヨークブティック開店を祝福

マニュファクチュール ブランパンはブランドフレンドである世界的シェフ、ジョエル・ロブション氏と共に、ニューヨーク5番街697番地に構えるブティックのオフィシャルオープニングを祝福しました。この素晴らしいめぐり逢いとマーケティング担当副社長を務めるアラン・デラムラ同行によるプライベートツアーの様子をご紹介します。

長きにわたって友情を育むマニュファクチュール ブランパンと、才能あふれるフランス人シェフがともに祝事を迎えました。時計ブランドであるブランパンは、ニューヨークに新たなブティックをオープン。時を同じくして、ミシュランから31もの星を獲得しているシェフ、ロブション氏も近隣地区に“ラトリエ ドゥ ジョエル・ロブション”（すでにヨーロッパやアジア、北米で営業）を開店しました。同時期に新店舗を開設するという素晴らしい偶然を祝して、ロブション氏が新ブティックのオープニングイベントに出席。2フロアからなる売り場面積 375 平方メートル（4,036 平方フィート）、新たな視点で再解釈されたデザインが特徴のブティックを訪れました。

オープニングイベントには多くのジャーナリストやブランドフレンドが出席。アラン・デラムラによるプライベートツアーを実施し、新店舗やブランドの世界観を紹介しました。その後、アラン・デラムラと偉大なフランス人シェフが品質や卓越、ノウハウ、優れた技術、緻密なクラフツマンシップの追求をはじめとする両者共通の基本的価値観について、和やかに、しかし情熱的に対談を繰り広げました。両者に共通する価値観について、アラン・デラムラは「ブランパンの伝統は、革新です。ジョエル・ロブションもまた然り。だからこそ、彼の技術や作品は常に進化し続けています。この断固たる決意により、私たちは常にあらゆるものに疑問の目を向けることで自らを進化させ、未来を築いているのです」と述べました。これを受けてミシュランスターシェフは、フィフティ ファズムスヤル・ブラッシュ、ヴィルレ コレクションを見て、同じビジョンを共有していることを確信し、「マニュファクチュール ブランパンを訪れた際に、マスターウォッチメーカーの仕事の間近で拝見しました。その時、彼らの正確な作業と自らの技術へのこだわりを実感し、シェフとウォッチメーカーという垣根を越えて、私たちには作品作りに対するプライドという共通点があると実感しました」と、述べました。

ツアーも終わりに近づいた時、ジョエル・ロブション氏にはブティックのウォールクロックが贈られ、興奮はクライマックスに。ロブション氏はその時計を“ジュウ溪谷を拠点とするマニュファクチュールとの深い絆”の証として新店舗に掲げ、“時間は、料理に欠かせない重要な素材である”と伝えています。

オートクイジーヌが現在の人気を獲得するよりはるか前、つまり 30 年以上前から、メゾン ブランパンはこの素晴らしい芸術分野をけん引する偉大なシェフたちと友情を築いてまいりました。ジョエル・ロブション氏との出会いは 1989 年にまで遡り、彼がフレディ・ジラルデやポール・ボキューズと共にゴー・ミヨの“Chefs of the Century (シェフ・オブ・ザ・センチュリー)” にノミネートされ、ブランパンがその栄光を讃えて特別なエンブレミング入りの時計を贈ったことがきっかけでした。それから長きにわたり、マニュファクチュールと世界的シェフは断固たる意志を持って、暮らしの芸術の発展に尽力しています。